

令和4年度「二条城障壁画 展示収蔵館」原画公開内容

	公開期間	公開内容	公開作品
第1期	4月21日(木)～ 6月19日(日) 〔60日間〕	<p>〈黒書院〉の桜と山水 ～対面所に見る和漢の競演～</p> <p>〈黒書院〉一の間・二の間は、将軍と、高位の公家や武家のための対面所です。そこには、金地に鮮やかな絵具を用い、日本の春を題材にした花鳥図と、墨と淡彩を用い、中国の風景を描く山水図が並置されています。こうした技法と主題から、前者は大和絵、後者は唐絵(漢画)に分類されます。こうした和漢の絵画を組み合わせることは、室町時代の将軍邸においても行われてきました。その伝統を継いで作られた、華やかな春と、穏やかな山水の競演を、ぜひご覧ください。</p>	<p>〈黒書院〉一の間・二の間障壁画 《桜花雉子図》《楼閣山水図》</p>
第2期	7月14日(木)～ 9月11日(日) 〔60日間〕	<p>松鷹 ～将軍の武勇を示す障壁画～</p> <p>〈大広間〉四の間の《松鷹図》は、二条城二の丸御殿の中で最も知名度が高い障壁画です。壁面を埋め尽くさんばかりの巨大な松に、現実よりも大きく描かれた鷹と鷺が添えられ、その力強さと豪華さを見るものを圧倒します。天井に届く二本の松を描く北側画面は、修理後初公開です。四の間には、鷹が二羽と鷺が一羽描かれていますが、これらの猛禽類は、将軍の武勇を示す役割を担っていると考えられます。今回は、〈大広間〉の西廊下に嵌められていた杉戸絵《松鷺図》も合わせて公開します。</p> <p>〔二の丸御殿特別入室〕〈大広間〉四の間 7月20日(水)～8月29日(月)火曜日を除く36日間</p>	<p>〈大広間〉四の間障壁画《松鷹図》 〈大広間〉廊下杉戸絵《松鷺図》</p>
第3期	10月6日(木)～ 12月4日(日) 〔60日間〕	<p>よみがえる狩野派の美 ～模写事業50周年記念展～</p> <p>寛永3年(1626)に制作された二の丸御殿障壁画は、完成以来、修理を施されつつ現地に設置されていましたが、劣化の進行を防ぐため、昭和47年(1972)、京都市は、模写を制作して原画とはめ替えることを目的として、模写事業を開始しました。それから50年目となる本年、当館で初めて模写と原画を並べて展示し、併せて、前例のない規模の障壁画保存の取り組みに、関係者たちが如何に臨んだか等、本事業の始まりから現在に至る足跡も紹介します。</p>	<p>〈式台〉廊下杉戸絵《獅子図》、同模写、〈黒書院〉牡丹の間障壁画《牡丹図》、同模写、〈白書院〉四の間障壁画《雪中梅竹小禽図》、同模写</p>
第4期	12月23日(金)～ 令和5年2月23日 (木・祝) ※12月29日～31日は休館 〔60日間〕	<p>新春を寿ぐ ～松竹梅～</p> <p>真冬でも青々と葉を茂らせる長寿の松、積雪にも折れずに色あせない竹、寒中に蕾をつけて花を咲かせる梅。松竹梅は、厳しい寒さに耐えぬくことから歳寒の三友といわれ、おめでたいものの象徴として一般的によく知られています。二の丸御殿には、圧倒的なスケールを誇る松や虎が注む竹林、うっすら雪に覆われた初春の松竹梅などが描かれています。大画面に描かれた松竹梅のおめでたい空間を体感いただき、新春を寿いでいただけたら幸いです。</p> <p>〔二の丸御殿特別入室〕〈黒書院〉二の間 令和5年1月4日(水)～1月30日(月)火曜日を除く24日間</p>	<p>〈式台〉式台の間障壁画《松図》、 〈遠侍〉三の間障壁画 《竹林群虎図》、〈黒書院〉一の間障壁画《松柴垣禽鳥図》</p>